

施策名	行政評価 施策体系	都市基盤の整備	施策 統括課	南部地域整備課	氏名	立川浩平
政策名		まちをつくる	施策 関係課	都市計画課、道路下水道課		都市整備部主幹、国立駅周辺整備課

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

- ・市民
- ・事業者
- ・市内全域

意図(対象をどう変えるのか)

- ・地域特性に合った都市基盤整備がされている
- ・住みやすい環境をつくる

対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ 事業者数	事業者
ウ 市域面積	km ²
エ	

成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 各地域の特성에合った基盤整備がされていると思う市民の割合	%
イ 生活に必要な都市基盤が整備されており、住みやすい環境であると感じている市民の割合	%
ウ	
エ	
オ	

2 第2次基本計画期間(平成23~27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
地域特性に合った都市基盤の整備	国立駅周辺まちづくり事業の推進を図ります。国立市南部地域整備基本計画に基づく基盤整備の推進を図ります。都市計画道路の整備を図ります。
住みやすい環境の整備	地域特性を守るルール(地区計画・建築協定等)の推進を図ります。町名地番整理の推進を図ります。歩行環境の整備や老朽化した舗装改良整備を行います。道路台帳の整備を行います。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

単位		数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
対象指標	ア 人	見込み値										
		実績値	73,563	73,803	74,261	74,329	74,432	74,265	74,566	74,385	74,558	
	イ 事業者	見込み値										
		実績値	2630(H18)		2,820	2,820	2,820	2,820	2,640	2,640	2,640	
成果指標	ア %	見込み値										
		実績値	70.3		64.7	63.1	63.3	64.0	72.7	72.6	72.1	
		基本計画における 施策の目標設定の根拠		国立市市民意識調査において、都市基盤が整備されている富士見台地域の2009(平成21)年度の水準である70%を目指すこととし、目標値を設定した。								
	イ %	見込み値										
		実績値	61.3		67.8	65.4	66.5	68.6	74.0	71.8	71.2	
		基本計画における 施策の目標設定の根拠		国立市市民意識調査において、北・東・中・西地域においてはJR中央線連続立体交差事業や都市計画道路3・4・10号線局所改良事業の完了により、住環境が向上し、80%の水準になると想定								
	ウ	見込み値										
		実績値										
		基本計画における 施策の目標設定の根拠										
	エ	見込み値										
		実績値										
		基本計画における 施策の目標設定の根拠										
オ	見込み値											
	実績値											
	基本計画における 施策の目標設定の根拠											
事務事業数		本数	36	33	33	33	36	36	35	34	33	
施策コスト	事業費	国庫支出金	千円				25,100	41,800	143,680	123,950	633,800	15,708
		都道府県支出金	千円	274,893	526,186	190,170	94,437	154,412	217,594	147,872	762,579	341,291
		地方債	千円	1,555,000	418,000	218,000	147,000	226,000	155,100	48,740	61,800	1,801,000
		その他	千円	152,469	180,525	171,306	218,551	63,716	127,463	171,800	193,324	173,534
		一般財源	千円	534,420	258,562	111,681	158,905	178,028	227,759	242,727	209,791	702,507
	事業費計(A)		千円	2,516,782	1,383,273	691,157	643,993	663,956	871,596	735,089	1,379,912	3,034,040
	人件費	延べ業務時間	時間	39,175	39,935	43,826	39,597	41,776	42,157	49,768	53,452	41,584
		人件費計(B)	千円	188,773	191,913	203,100	190,485	205,895	203,580	238,790	252,860	203,120
		トータルコスト(A)+(B)		千円	2,705,555	1,575,186	894,257	834,478	869,851	1,075,176	973,879	1,632,772

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

平成18年度から都市計画道路3・4・10号線の整備事業を実施している。
 国立市南部地域整備基本計画を平成26年8月に策定した。
 平成26年度に城山南地区、27年度に下新田地区の土地区画整理事業が完了した。
 国立駅周辺まちづくり基本計画に基づき、駅前報告会等を開催した。
 平成23年2月に国立市都市計画マスタープラン(改訂版)を策定した。
 平成23年度に東京都が都市計画道路3・3・2号線の事業認可を取得し、事業を進めている。
 平成25年度に東京都が都市計画道路3・4・5号線の事業認可を取得し、事業を進めている。
 平成25年にJR中央線の高架化が完了し、平成26年9月に側道の供用を開始した。
 社会資本(道路施設)の老朽化が進行していることから、道路法施行令が平成25年6月に改正され、橋やトンネル等の定期点検が義務化された。
 平成25年度から、さくら通りの2車線化事業を進めている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・南部地域の狭あい道路の整備を進めるよう要望がある。
- ・南部地域の町名地番整理を進めるよう要望がある。
- ・甲州街道の歩道拡幅について要望がある。
- ・国立駅周辺まちづくり事業の縮小を求める声がある。
- ・さくら通りの適切な維持管理のため、抜本的な改修を求める意見があるが、一方で老朽化した桜の保護を求める意見もある。
- ・社会資本(道路施設)の老朽化対策に取り組むべきとの要望がある。

5 27年度の評価結果

(1) 施策の取組状況

27年度行政経営方針	取組状況
中央線連続立体交差化事業の完了に伴い、国立駅周辺において南北の一体化が進んできている。国立駅周辺まちづくり事業を本格化させ、他のまちにはない独自の魅力あるまちづくりを進めていく。 具体的には、北口駅前広場整備の実施設計、中央線高架下市民利用施設や国立駅南口第一自転車駐車場の実施設計、旧国立駅舎の再築のための用地及び複合公共施設整備用地の取得、都市計画道路3・4・10号線の引き続きの整備など、国立駅周辺の賑わいと活力の創出のため、あらゆる角度から知恵を出し合って事業を推進していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路3・4・10号線は、南工区の用地買収を行った。 ・南部地域整備計画に基づく優先整備路線の用地買収を進めている。 ・下新田地区の土地区画整理事業が完了した。 ・南部地域において町名地番整理事業を実施している。 ・さくら通りの2車線化事業を進めている。 ・国立駅周辺の交通体系は、警視庁との協議を行っている。 ・国立駅周辺道路整備事業は、東京都の支援を受けながら整備を進めていくこととなり、西1条線及び西1号線の一部について用地買収を行った。 ・道路ストック(舗装・橋梁・道路付属物)総点検を実施した。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標値達成度(目標値と実績値との比較)

成果指標ア 【 各地域の特性に合った基盤整備がされていると思う市民の割合 】
 27年度目標値を達成 未達成 (26年度実績値と比較し成果向上・維持 26年度実績値と比較し成果低下)

成果指標イ 【 生活に必要な都市基盤が整備されており、住みやすい環境であると感じている市民の割合 】
 27年度目標値を達成 未達成 (26年度実績値と比較し成果向上・維持 26年度実績値と比較し成果低下)

成果指標ウ 【 】
 27年度目標値を達成 未達成 (26年度実績値と比較し成果向上・維持 26年度実績値と比較し成果低下)

成果指標エ 【 】
 27年度目標値を達成 未達成 (26年度実績値と比較し成果向上・維持 26年度実績値と比較し成果低下)

成果指標オ 【 】
 27年度目標値を達成 未達成 (26年度実績値と比較し成果向上・維持 26年度実績値と比較し成果低下)

成果指標カ 【 】
 27年度目標値を達成 未達成 (26年度実績値と比較し成果向上・維持 26年度実績値と比較し成果低下)

時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上) ~ E(かなり低下)
 C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)

他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い) ~ E(かなり低い)
 C:他自治体と比べてほぼ同水準である

背景として考えられること
 ア・イ、...JR中央線の高架化に伴う側道整備が完了したことにより数値が上昇したが、その後のハード面での整備が完了していない事業があるため、横ばいとなっていると考えられる。また、南部地域においても、少しずつであるが、道路整備や土地区画整理を行ったことにより都市基盤整備が進められている。
 ...南部地域においては、狭あい道路が多く都市基盤整備が遅れている。

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

- ・都市計画道路3・4・10号線は、南工区の用地買収を行った。
- ・南部地域整備計画に基づく優先整備路線の用地買収を進めている。
- ・下新田地区における土地区画整理事業の完了、南部地域における町名地番整理事業の実施により、都市基盤の整備が進んでいる。
- ・さくら通りの2車線化事業を進めている。

6 施策の課題・今後の方向性

- ・事業実施のための財源確保。
- ・平成26年に策定した南部地域整備基本計画に基づき、南部地域の基盤整備を進めていく。
- ・国立駅周辺の整備に向け、関係機関と協議を行い、順次事業を行っていく。
- ・町名地番整理事業を計画的に実施していく。
- ・さくら通りの2車線化事業については、東京都の補助金を活用しながら進めていく。
- ・社会資本(道路整備)の老朽化対策が遅れている。道路ストック総点検の結果により長期修繕計画を策定する必要がある。